

教科 国語 科目 国語

授業科目	国語表現	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年生	コース	ICT 科		
教科書	国語表現（大修館）		副教材	基礎練習ノート（大修館）	
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。</li> <li>・生徒の文章力、論理的思考力、自己発信力を養うことを目的に感想文や論文について「型」を学んでいく。作成する演習や、パソコンを使ったりレポートの作成、グループワークによる発表、クラスメートを前に本を紹介するプレゼンテーションなど、自己表現へと繋がる内容を構成していく。</li> </ul>				
授業内容及び到達目標		単元	目標	教材	
	1 学期	小論文・レポート 入門 自己 PR と面接 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文の基本的な書き方を理解する。</li> <li>・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。</li> <li>・文章の要旨をつかむための方法を理解する。</li> <li>・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。</li> <li>・事実やできごとをふまえて、効果的な自己 PR と志望動機にする。</li> <li>・論理的に思考し、文章を組み立てるために必要なルールを身につけ、文章力を高める。</li> </ul>	小論文 人生を見つめる 自己 PR ワークシート 面接の準備 履歴書の書き方 便箋の手紙	
	2 学期	二次創作 プレゼンテーション 卒論課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動に興味を持っており、作品制作に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・個々のオリジナリティーを大切に、創作活動が身近なものであると感じる。（芸術的な感受や表現の工夫など）</li> <li>・自分のイメージなどを楽譜などに表し、演奏することができる。</li> <li>・創作したものを互いに鑑賞し合い、それぞれの楽曲の良さや相違点などを感じ取りながら鑑賞することができる。</li> <li>・人生の軌跡を記録することで自分自身を深く理解することができる。</li> <li>・家族や友人とコミュニケーションを取れ機会が生まれ、生きがいを見つけることができる。</li> <li>・自分史を作成する過程で自己肯定感を高めることができる。</li> </ul>	二次創作（童話などから選定）  プレゼンテーション （生徒が好む推薦物について）  卒論課題（自分史）	
	3 学期	卒論課題	・上記内容と同上	卒論課題（自分史）	

# 教科 国語

# 科目 現代文A

授業科目	現代文A	単位数	2単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	現代文A (大修館)	副教材	準拠学習ノート (大修館)		
授業概要	近代以降の様々なジャンルの文章を読み味わう魅力をさらに高めるとともに、物の見方・感じ方・考え方をより深め、進んで表現しい読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	ことばと文化	言葉の本質や成果宇野中に表れるその特色について理解を深め、自らの言語生活を見つめ直す。	排球、そして千利休	
		漢字検定	漢字検定を通して、漢字や語義、四字熟語などの言葉に関する知識を深める。	漢字検定問題集	
		社会で生きる	現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取り、自分の生き方について考える。	幸せの分量	
		情報と私たち	情報化社会の中で生活していくために、言語や情報の在り方を正しく理解する。	情報の力関係	
	2 学 期	漱石・鴎外の世界	場面展開を的確に読み取り、主題に迫り、自我について考える。	こころ	
		詩歌を味わう	短歌の特色を理解し、鑑賞する態度や方法を学ぶ。	短歌・俳句・百人一首	
	3 学 期	現代社会を考える	社会的な傾向や変化に目を向け、どのような時代を生きているかを考える。	家族化するペット	

## 令和5年 ICT 科高校3年日本史 A シラバス

授業科目	日本史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	東京書籍 日本史 A 現代からの歴史	副教材	ワーク		
授業概要	この授業を通して、幕末から現代までの大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料をもとに日本の歴史を多角的・多面的に把握できるようにする。				
		単 元	目 標	教 材	
1 学 期	第1章から第2章 2. 立憲体制の成立	幕末（ペリー来航）から大日本帝国憲法成立までの流れを把握する。 また、この時代における歴史的事象の時代背景もとらえる。	教科書など		
2 学 期	第2章 2. 立憲体制の成立～ 第3章 4. 太平洋戦争と日本	大日本帝国が成立してから終戦までの流れを理解し、大戦景気から戦争の長期化により経済が悪化していった社会の様子を考察する。	教科書など		
3 学 期	第4章	終戦、朝鮮戦争、高度経済成長を経て、日本がどのように立ち直っていったのか。また、日本の今後の課題を考察する。	教科書など		

## 令和5年度 ICT科高校3年 科目 ふじのくに研究シラバス

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書			副教材	最新現代社会資料集(第一学習社) 新聞・ニュース時事検定など	
授業概要	静岡県環境・歴史・観光・企業における魅力や課題について研究する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	静岡県の環境について	静岡県の環境について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の環境に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料
		静岡県の歴史について	静岡県の歴史について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の歴史に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料
	2 学 期	静岡県の観光・企業について	静岡県の観光・企業について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の観光・企業に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料
	3 学 期	静岡県の魅力について まとめレポートを提出。	1～2学期に行った調査をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題をまとめ POWERPOINT を作成する。今までの活動の記録をまとめ、レポートで提出。		インターネット 新聞 資料

# 教 科 社 会 科 目 ふじのくに研究 (英語)

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	必修 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科		
教科書		副教材	パンフレット・静岡市観光情報サイト 静岡県観光情報サイト 等		
授業概要	静岡県中部や静岡市各地の史跡や名所について研究する。調べた情報をまとめ、外国人観光客に分かりやすく英語でプレゼンテーションをするために、伝え方を学んだり、英語表現を運用したりする。				
授業内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1 学 期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。(日本語)	静岡の史跡・名所について研究する。 調べた史跡・名所を日本語で分かりやすく紹介する。 パワーポイントを用いて、プレゼンで発表する。	各観光地のパンフレットや HP	
	2 学 期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。(英語)	調べた静岡の史跡・名所を英語でプレゼンするために英語表現を運用したり、パワーポイントを用いて英語でスライドを作成したりする。また、英語でどのように発表するのかを学ぶ。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典	
	3 学 期	まとめ	2 学期で発表した内容をさらに良いプレゼンテーションにするために発表練習をし、改善する。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典	

# 教科 家庭科

# 科目 ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2単位	履修形態	選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース			
教科書			副教材		
授業概要	静岡県の食材における魅力や課題について研究し、発表する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。 高校生対抗レシピコンテストなどに参加をする。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	静岡県の食材について	グループでテーマを決め、静岡県の食材について魅力・課題を調査し、地元の食材に対する知識・理解を深める。		パソコン インターネット 資料 新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(鉄板焼甲子園、お魚レシピコンテスト・うまいもん甲子園等参加)		
	2 学 期	静岡県の食材について	静岡県の食材について魅力・課題を調査しPOWERPOINTを作成する。 テーマの食材を使ったレシピを考える。その栄養価についても深く研究する。調理実習を行う。		パソコン インターネット 資料 新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(静岡県私学レシピコンテストに参加)		わさび漬け 実習
	3 学 期	静岡県の食材について まとめレポートを提出。	1～2学期に行った調査、実習をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題のプレゼンテーションを行い、互いの発表成果を評価する。今までの活動の記録をまとめる。		発表会

授業科目	数学演習	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科 プロフェッショナルコース		
教科書			副教材	プリント WIDE 数学 II 問題編 WIDE 数学 II 解答編	
授業概要	一学期前半で数学 I・A の復習を行います。2 学期後では数学 II の一部単元の導入・基礎を学習し、数学的な見聞を広げていきます。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	数学 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算方法の再確認をする。</li> <li>2 次関数のグラフについてや、2 次方程式との関係性を確認する。</li> <li>三角比の性質を確認する。</li> </ul>		プリント
		数学 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>数え上げだけでなく、計算を用いて場合の数や確率を求める。</li> <li>整数の性質や一次不定方程式の解法を確認する。</li> <li>図形の性質を確認し、様々な図形における辺の長さや角度を求める。</li> </ul>		
2 学 期	数学 II 微分・積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。</li> </ul>		WIDE 数 学 II	
	3 学 期				

# 教 科 理 科 科 目 生 物 基 礎

授業科目	生物基礎	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	3年	コース	ICT科		
教科書	第一学習社 新生物基礎	副教材	第一学習社 プログレス生物基礎		
授業概要	地球上に生息している多様な生物の共通点について理解を深める授業です。これらを理解することで生物が生きていくために必要な仕組みについて理解をすることが出来ます。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	生物の特徴	生物に様々な種類がいるが、共通性もあることを理解する。生物を形成している細胞の様々な機能について理解する。		原核生物 真核生物 顕微鏡	
2 学 期	遺伝子とその働き	遺伝子とは何か。どのようにして親から子へ伝えられるのかを理解する。また、遺伝子が体の中でどのように働いているかを学ぶ。		DNA タンパク質 転写・翻訳	
3 学 期	体内環境と恒常性 植生の多様性と分布	生物の体内環境はさまざまな働きによって一定に保たれていることを理解し、その仕組みについて説明することができる。 生物がそれぞれの環境に適応してきたことを理解し、どの地域にどのバイオームがみられるかを考えながら理解する。		体液 肝臓・心臓 腎臓 バイオーム	

# 教科 保健体育

# 科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	ICT科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

# 教 科 芸 術 科 目 音 楽

授業科目	音楽 I	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高校 3 年	コース	I C T 科 ・ 普通科		
教科書	教育芸術社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深くかかわる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
1 学 期	楽典・ギター	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。			ギター
	創作アンサンブル	歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、グロックンなどを使い、どのパートをどの楽器で演奏するのがふさわしいか考えながら、自分たちでアンサンブルで演奏する。			星野源「うちで踊ろう」
	アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせる演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。			島人ぬ宝
	民族と音楽（1） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。			椰子の実
2 学 期	民族と音楽（2） 世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかがわらせて理解し、その良さを味わう。			おおシャンゼリゼ
	劇と音楽	ストーリーと音楽のつながりを感じ、音楽の役割について考える。			美女と野獣 Memory
3 学 期	合唱	合唱音楽を体験し、他者との調和を意識して歌うとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。			次の空へ

授業科目	美 術	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科 ・ 普通科		
教科書	美術 I		副教材		
授業概要	制作作品や鑑賞を通して表現する喜びに触れ、日常で使う美術に対する興味・関心を高める。				
授業内容 および 到達目標		単元	目 標	教 材	
	1 学 期	レタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明朝体、ゴシック体の違いを知ることができる。</li> <li>・「城」「あ」を、お手本通りに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリント</li> <li>・教科書</li> </ul>	
		ポスターコンクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターの題材から制作意図、伝える相手を考えることができる。</li> <li>・絵と文字を組み合わせる時間内に完成させることができる。</li> <li>・鑑賞活動に積極的に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・画用紙</li> <li>・アクリル絵の具</li> <li>・色鉛筆</li> <li>・タブレット</li> </ul>	
2 学 期 ・ 3 学 期	木彫時計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の実用性も大切に、彫りを意識してデザインすることができる。</li> <li>・彫刻刀を使い制作ができる。</li> <li>・作品に合う色を付けることができる。</li> <li>・鑑賞を通して、他者の表現を受け入れるとともに、自己の視野を広げることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・学習プリント</li> <li>・木彫時計</li> <li>・彫刻刀</li> <li>・アクリル絵の具</li> </ul>		

# 教 科 芸 術 科 目 書 道 I

## 令和5年度 シラバス

授業科目	芸選 書道	単位数	1単位	履修形態	必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高3年	科	ICT科・普通科		
教科書	書道1 東京書籍	副教材			
授業概要	書道の諸活動を通して書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに書を愛好する心情を養う。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標		教材	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字 〔隸書・篆書〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隸書の基本点画（波磔）を学ぶ</li> <li>・ 草書の用筆運筆法と字形の取り方を理解する</li> <li>・ 隸書・草書・臨書を通じて表現の多様さを体得する</li> </ul>		教科書 60～63P <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 竹簡</li> <li>・ 木簡</li> <li>・ 曹全碑</li> <li>・ 乙瑛碑</li> </ul> 教科書 58～59P・真草千字文	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二年次の復習</li> <li>・ 古筆の理解</li> <li>・ 構成美の理解</li> </ul>		教科書 70～97P <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓬萊切</li> <li>・ 高野切第三種</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名交じりの書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書風と墨色の変化を理解する</li> <li>・ 古典・古筆の倣書をする</li> <li>・ 漢字と仮名の調和を図る</li> </ul>		教科書 98～114P	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用書 細字 般若心経</li> <li>・ まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楷書・行書・草書の三体を知る</li> <li>・ 縦書き横書きのまとめ方</li> <li>・ 書の変遷を理解する</li> </ul>		資料による （書道史年表）		

# 教 科 英 語 科 目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース			
教科書	Treasure Hunt2,3 (いっずな書店) Treasure Booklet	副教材	Logical English Reading 1 ~ 3 monoxer		
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英検 1 級・2 級の取得を目指す。				
授業内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1 学 期	Unit 6~12  英検対策	登場人物や物事の起源について原因と結果を把握し、理解することができる。精神、福祉、動物保護について代名詞や省略された語句、時間軸を理解し、正しく文章を読めるようになる。助動詞、受動態、不定詞、動名詞、接続詞、分詞を理解し、使うことができる。  受験級の取得を目指す。  過去問題や Monoxer を使い、英語検定合格を目指す。	Treasure Hunt Treasure Booklet  Monoxer	
		Unit 13~15  Lesson1~6  全商英検対策	水資源や友情、健康についての文章を読み、正しく理解したうえでそれについて自分の意見を発言することができる。  接続詞、分詞、関係代名詞、比較を理解し使うことができる。  習得した高校英語を使い、各レッスンのトピックについて自分の意見を持ち、相手に主張することができる。相手の主張を聞き、理解することができる。  過去問題や Monoxer を使い、英語検定合格を目指す。	Treasure Hunt Treasure Booklet  Logical English Reading1~3 Monoxer	
		Lesson7,8  まとめ、実践演習	各トピックについて議論をする中で、論理的に物事を考え英語で主張することができる。多面的に物事を考えることができる。身近な問題や社会問題に対する知識・教養が身につく。	Logical English Reading 1~3	

# 教 科 英 語                      科 目 英 語 表 現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	(必修)・選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	プロフェッショナルコース		
教科書	4 技能試験対応コア表現トレーニング Interactive 4 skills	副教材	Monoxer		
授業概要	4 技能向上として英検対策問題演習を中心に、既習の文法事項の復習と定着を図り、語彙力、読解力、リスニング力といった総合的な英語力向上を図りながら、大学進学に必要な能力をバランスよく強化する。英語検定の取得に向けて対策も行う。				
授業内容	単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学期	スピーキング演習 ライティング演習 長文演習 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、文章作成能力、読解力、リスニング力の向上を図る。		コア表現 4 skills Monoxer
	2 学期	スピーキング演習 ライティング演習 長文演習 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、文章作成能力、読解力、リスニング力の向上を図る。		コア表現 4 skills Monoxer
	3 学期	スピーキング演習 ライティング演習 長文演習 リスニング演習	既習の文法事項を正確に理解し定着させる。 語彙力、文章作成能力、読解力、リスニング力の向上を図る。		コア表現 4 skills Monoxer

# 教 科 商 業 科 目 課 題 研 究

授業科目	課題研究		単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3 年		科	ICT科		
教科書	日商簿記1級テキスト(立志舎) 全商ビジネスコミュニケーション検定テキスト(実教出版)		副 教 材	模擬問題集・MESE プログラム まなびやマニュアル		
授業概要	簿記研究・ビジネス文書研究・小論文研究 ビジネスマナー研究(まなびや研究)・進路研究・経営学研究					
授業内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	小論文研究	自己の振り返りを行う 小論文の模擬にチャレンジする。		模擬問題集 副教材	
		ビジネス文書研究	表の挿入・図の挿入・センテンスの方法・機械・ 機械操作について・文書の種類・作成・プ レゼンテーションについて・ことばの知識 全商ビジネス文書検定にチャレンジする。		過去問題 模擬問題集	
		簿記研究	決算整理・連結会計・管理会計 全経簿記検定上級に挑戦		過去問題集 模擬問題集	
		ビジネスマナー研究	ビジネスマナー・コミュニケーションスキルについて 全商ビジネスコミュニケーション検定にチャレンジする。		外部講師に よる講義	
	2 学 期	経営学研究	MESE プログラムを活用して実際の企業経営 を疑似体験し、経営学を実践的に学ぶ。		MESE プログ ラム	
		進路研究	各自将来の目標に向けて、最適な進路が選 択できる様に調べ、まとめあげる。			
		小論文研究	社会問題研究(環境問題・高齢化社会・女 性問題・経済問題) 大学研究(志望動機)			
		簿記研究	決算整理・連結会計・管理会計 全商会計実務管理会計に挑戦		過去問題集 模擬問題集	
		ビジネス研究 (まなびや研究)	HP 作成(まなびやページ作成) 引継ぎ準備		まなびやマニ ュアル	
	3 学 期	発 表	年間を通して学んだ研究内容について発表 することができたか			

教科：商業 科目：会計演習

授業科目	会計演習		単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3 年		科	ICT科プロフェッショナルコース		
教科書	日商簿記1級テキスト(立志舎) 電子会計2級テキスト(実教出版) 全商会計実務財務諸表分析(実教出版)		副教材	模擬問題集(TAC 出版) 過去問題集(TAC 出版)		
授業概要	簿記研究・電子会計研究・企業研究					
授業内容		単 元	目 標		教 材	
および 到達目標	1 学 期	簿記研究	仕訳処理・決算整理・連結会計・管理会計 全経簿記上級にチャレンジ		過去問題集 模擬問題集	
	2 学 期	簿記研究	仕訳処理・決算整理・連結会計・管理会計 比率分析 全商会計実務検定にチャレンジ		過去問題集	
		電子会計研究	仕訳処理・試算表作成		模擬問題集 電子会計2 級テキスト	
	3 学 期	電子会計研究	財務分析・企業分析		模擬問題集	

# 教 科 商 業

# 科 目 まなびや研究

授業科目	まなびや研究	単位数	2単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科プロフェッショナルコース				
教科書	なし	副教材	まなびやマニュアル		
授業概要	<p>『高校生が創り運営するオンラインショッピングモールまなびや』の運営を行う授業である。担当企業様に連絡を取り、商品や広告の情報を提供していただきページを作成する。また、担当企業様とコラボレーションをして新商品の開発にも力を入れる。</p> <p>また参加企業を増やすため、飛び込み営業を行い説明会の開催をする。12月には1年間の活動を報告する報告会を行う授業である。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	新年度の挨拶	新規企業担当者を決定させ、新年度のご挨拶をメール、または電話で行う。	まなびや企業訪問マニュアル	
		まなびやホームページの充実	ホームページの改良を目指す。より、見やすく、使いやすいページ作りをして買い物をしやすくする。	まなびや詳細ページマニュアル	
	2 学 期	新規企業開拓	まなびやに加入していない企業を対象に説明会を開催する。実践的な営業活動を通じてビジネスマナーの向上を目指す。	まなびや買い物の仕方マニュアル	
		新商品登録 営業活動	月に1回担当企業様に訪問し新商品の情報やニュースがないか打合せを行う。実践からビジネスマナーを身につける。	まなびや詳細ページマニュアル、まなびやマニュアル店舗編	
		しんきんフェア	しずおか焼津信用金庫が主催するしんきんフェアに参加する。企業と商談をし、実社会で通用する力を身につける。		
		報告会	1年間の活動を参加企業に対して報告しプレゼンテーション能力や実践的な活動を通じ、おもてなしの心を学ぶ。		
		静岡を観る まなぐる	観光名所やグルメ情報ページの更新。新規企業を開拓し営業活動を行う。	まなびや詳細ページマニュアル	
	3 学 期	引継ぎ	業務内容を後輩へ引き継ぎ。 担当企業様への挨拶。	まなびやの歴史マニュアル	

教科 国語 科目 国語

授業科目	国語表現	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年生	コース	ICT 科		
教科書	国語表現（大修館）		副教材	基礎練習ノート（大修館）	
授業概要	<p>・国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。</p> <p>・生徒の文章力、論理的思考力、自己発信力を養うことを目的に感想文や論文について「型」を学んでいく。作成する演習や、パソコンを使ったりレポートの作成、グループワークによる発表、クラスメートを前に本を紹介するプレゼンテーションなど、自己表現へと繋がる内容を構成していく。</p>				
授業内容及び到達目標		単元	目標	教材	
	1 学期	小論文・レポート 入門 自己 PR と面接 メディアを駆使する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文の基本的な書き方を理解する。</li> <li>・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。</li> <li>・文章の要旨をつかむための方法を理解する。</li> <li>・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。</li> <li>・事実やできごとをふまえて、効果的な自己 PR と志望動機にする。</li> <li>・論理的に思考し、文章を組み立てるために必要なルールを身につけ、文章力を高める。</li> </ul>	小論文 人生を見つめる 自己 PR ワークシート 面接の準備 履歴書の書き方 便箋の手紙	
	2 学期	二次創作 プレゼンテーション 卒論課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動に興味を持っており、作品制作に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・個々のオリジナリティを大切に、創作活動が身近なものであると感じる。（芸術的な感受や表現の工夫など）</li> <li>・自分のイメージなどを楽譜などに表し、演奏することができる。</li> <li>・創作したものを互いに鑑賞し合い、それぞれの楽曲の良さや相違点などを感じ取りながら鑑賞することができる。</li> <li>・人生の軌跡を記録することで自分自身を深く理解することができる。</li> <li>・家族や友人とコミュニケーションを取れ機会が生まれ、生きがいを見つけることができる。</li> <li>・自分史を作成する過程で自己肯定感を高めることができる。</li> </ul>	二次創作（童話などから選定）  プレゼンテーション （生徒が好む推薦物について）  卒論課題（自分史）	
	3 学期	卒論課題	・上記内容と同上	卒論課題（自分史）	

# 教科 国語

# 科目 現代文A

授業科目	現代文A	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	全コース		
教科書	現代文A (大修館)	副教材	準拠学習ノート (大修館)		
授業概要	近代以降の様々なジャンルの文章を読み味わう魅力をさらに高めるとともに、物の見方・感じ方・考え方をより深め、進んで表現しい読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	ことばと文化	言葉の本質や成果宇野中に表れるその特色について理解を深め、自らの言語生活を見つめ直す。	排球、そして千利休	
		漢字検定	漢字検定を通して、漢字や語義、四字熟語などの言葉に関する知識を深める。	漢字検定問題集	
		社会で生きる	現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取り、自分の生き方について考える。	幸せの分量	
		情報と私たち	情報化社会の中で生活していくために、言語や情報の在り方を正しく理解する。	情報の力関係	
	2 学 期	漱石・鴎外の世界	場面展開を的確に読み取り、主題に迫り、自我について考える。	こころ	
		詩歌を味わう	短歌の特色を理解し、鑑賞する態度や方法を学ぶ。	短歌・俳句・百人一首	
	3 学 期	現代社会を考える	社会的な傾向や変化に目を向け、どのような時代を生きているかを考える。	家族化するペット	

## 令和5年 ICT 科高校3年日本史 A シラバス

授業科目	日本史 A	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校3年 ICT 科	コース	全コース		
教科書	東京書籍 日本史 A 現代からの歴史	副教材	ワーク		
授業概要	この授業を通して、幕末から現代までの大まかな歴史の流れを理解する。また、様々な資料をもとに日本の歴史を多角的・多面的に把握できるようにする。				
		単 元	目 標	教 材	
1 学 期	第1章から第2章 2. 立憲体制の成立	幕末（ペリー来航）から大日本帝国憲法成立までの流れを把握する。 また、この時代における歴史的事象の時代背景もとらえる。	教科書など		
2 学 期	第2章 2. 立憲体制の成立～ 第3章 4. 太平洋戦争と日本	大日本帝国が成立してから終戦までの流れを理解し、大戦景気から戦争の長期化により経済が悪化していった社会の様子を考察する。	教科書など		
3 学 期	第4章	終戦、朝鮮戦争、高度経済成長を経て、日本がどのように立ち直っていったのか。また、日本の今後の課題を考察する。	教科書など		

## 令和 5 年度 ICT 科高校 3 年 科目 ふじのくに研究シラバス

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	必修
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	全コース		
教科書			副教材	最新現代社会資料集(第一学習社) 新聞・ニュース時事検定など	
授業概要	静岡県の環境・歴史・観光・企業における魅力や課題について研究する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	静岡県の環境について	静岡県の環境について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の環境に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料	
	静岡県の歴史について	静岡県の歴史について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の歴史に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料	
2 学 期	静岡県の観光・企業について	静岡県の観光・企業について魅力・課題を調査し POWERPOINT を作成する。地元の観光・企業に対する知識・理解を深める。		インターネット 新聞 資料	
3 学 期	静岡県の魅力について まとめレポートを提出。	1～2 学期に行った調査をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題をまとめ POWERPOINT を作成する。今までの活動の記録をまとめ、レポートで提出。		インターネット 新聞 資料	

# 教 科 社 会 科 目 ふじのくに研究 (英語)

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2 単位	履修形態	必修 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科		
教科書		副教材	パンフレット・静岡市観光情報サイト 静岡県観光情報サイト 等		
授業概要	静岡県中部や静岡市各地の史跡や名所について研究する。調べた情報をまとめ、外国人観光客に分かりやすく英語でプレゼンテーションをするために、伝え方を学んだり、英語表現を運用したりする。				
授業内容		単 元	目 標	教 材	
および 到達目標	1 学 期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。(日本語)	静岡の史跡・名所について研究する。 調べた史跡・名所を日本語で分かりやすく紹介する。 パワーポイントを用いて、プレゼンで発表する。	各観光地のパンフレットや HP	
	2 学 期	静岡の史跡・名所研究 パワーポイントを用いて、プレゼンテーションづくり。(英語)	調べた静岡の史跡・名所を英語でプレゼンするために英語表現を運用したり、パワーポイントを用いて英語でスライドを作成したりする。また、英語でどのように発表するのかを学ぶ。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典	
	3 学 期	まとめ	2 学期で発表した内容をさらに良いプレゼンテーションにするために発表練習をし、改善する。	各観光地のパンフレットや HP 英和辞典・和英辞典	

# 教科 家庭科

# 科目 ふじのくに研究

授業科目	ふじのくに研究	単位数	2単位	履修形態	選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース			
教科書			副教材		
授業概要	静岡県の食材における魅力や課題について研究し、発表する。その研究をもとに地元静岡に対する愛を深める。 高校生対抗レシピコンテストなどに参加をする。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	静岡県の食材について	グループでテーマを決め、静岡県の食材について魅力・課題を調査し、地元の食材に対する知識・理解を深める。		パソコン インターネット 資料 新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(鉄板焼甲子園、お魚レシピコンテスト・うまいもん甲子園等参加)		
	2 学 期	静岡県の食材について	静岡県の食材について魅力・課題を調査しPOWERPOINTを作成する。 テーマの食材を使ったレシピを考える。その栄養価についても深く研究する。調理実習を行う。		パソコン インターネット 資料 新聞
		地域の食材を使ったレシピ作り	家族のコミュニケーションを深めるべく共食の推進と、栄養のアンバランスを解消できる食材の使い方を考慮しながら、静岡県産の農作物や魚類、肉類を使用したオリジナルレシピを考える。(静岡県私学レシピコンテストに参加)		わさび漬け 実習
	3 学 期	静岡県の食材について まとめレポートを提出。	1～2学期に行った調査、実習をまとめ、自分なりに静岡県の魅力・課題のプレゼンテーションを行い、互いの発表成果を評価する。今までの活動の記録をまとめる。		発表会

授業科目	数学演習	単位数	2 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科 プロフェッショナルコース		
教科書			副教材	プリント WIDE 数学 II 問題編 WIDE 数学 II 解答編	
授業概要	一学期前半で数学 I・A の復習を行います。2 学期後では数学 II の一部単元の導入・基礎を学習し、数学的な見聞を広げていきます。				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標		教 材
	1 学 期	数学 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算方法の再確認をする。</li> <li>2 次関数のグラフについてや、2 次方程式との関係性を確認する。</li> <li>三角比の性質を確認する。</li> </ul>		プリント
		数学 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>数え上げだけでなく、計算を用いて場合の数や確率を求める。</li> <li>整数の性質や一次不定方程式の解法を確認する。</li> <li>図形の性質を確認し、様々な図形における辺の長さや角度を求める。</li> </ul>		
2 学 期	数学 II 微分・積分	<ul style="list-style-type: none"> <li>微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。</li> </ul>		WIDE 数 学 II	
	3 学 期				

# 教 科 理 科 科 目 生 物 基 礎

授業科目	生物基礎	単位数	2単位	履修形態	必修
履修学年	3年	コース	ICT科		
教科書	第一学習社 新生物基礎	副教材	第一学習社 プログレス生物基礎		
授業概要	地球上に生息している多様な生物の共通点について理解を深める授業です。これらを理解することで生物が生きていくために必要な仕組みについて理解をすることが出来ます。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
1 学 期	生物の特徴	生物に様々な種類がいるが、共通性もあることを理解する。生物を形成している細胞の様々な機能について理解する。		原核生物 真核生物 顕微鏡	
2 学 期	遺伝子とその働き	遺伝子とは何か。どのようにして親から子へ伝えられるのかを理解する。また、遺伝子が体の中でどのように働いているかを学ぶ。		DNA タンパク質 転写・翻訳	
3 学 期	体内環境と恒常性 植生の多様性と分布	生物の体内環境はさまざまな働きによって一定に保たれていることを理解し、その仕組みについて説明することができる。 生物がそれぞれの環境に適応してきたことを理解し、どの地域にどのバイオームがみられるかを考えながら理解する。		体液 肝臓・心臓 腎臓 バイオーム	

# 教科 保健体育

# 科目 体育

授業科目	体育	単位数	3単位	履修形態	○必修 ・ 選択
履修学年	高校3年	コース	ICT科		
教科書	なし	副教材	アクティブスポーツ 大修館書店		
授業概要	自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任などに対する意欲を高め、生涯スポーツの実現を目指す。				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標			教 材
	1 学 期	体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。		
		体ほぐし運動	運動を通して、自己の体に関心を持ち、自分や仲間 の状態に気づくことができるようにする。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
		水泳	自由形・平泳ぎ・背泳ぎの3泳法の個々の能力に 合った目標タイムを設定し記録向上に向けた練習 を進める。		
		バスケットボール	ドリブル、パス、シュートの技術向上を図り、よ り高度な試合展開ができるようにする。		
	2 学 期	ダンス	創作の質を高め、ダンスの技術の向上と自己表現 の楽しさを味わう。		
		器械運動	柔軟性を高め、多様な技を組み合わせた演技をし、 成功した時の喜びを味わう。		
		体育理論	現代のスポーツの特徴について理解できるように する。		
		新体力テスト	持久走を含む8種目 Aランクを目標		
	3 学 期	サッカー	チームでの連携を図り、より高度な試合展開がで きるようにする。		
武道		相手の動きの変化に応じて、多様な技への連絡を 用いて高度な試合展開ができるようにする。			

# 教 科 芸 術 科 目 音 楽

授業科目	音楽 I	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高校 3 年	コース	I C T 科 ・ 普通科		
教科書	教育芸術社		副教材		
授業概要	歌唱、器楽、鑑賞などの音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音楽、音楽文化と深くかかわる。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
1 学 期	楽典・ギター	コードの種類を覚え、和音の織りなす美しさを味わう。			ギター
	創作アンサンブル	歌、ギター、リコーダー、鍵盤ハーモニカ、グロックンなどを使い、どのパートをどの楽器で演奏するのがふさわしいか考えながら、自分たちでアンサンブルで演奏する。			星野源「うちで踊ろう」
	アンサンブルを楽しもう	声や楽器を組み合わせる演奏したり、創作を通して、それらに必要な技能を高め、イメージをもって創造的に表現する。			島人ぬ宝
	民族と音楽（1） 日本のこころ	音楽の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを理解する。			椰子の実
2 学 期	民族と音楽（2） 世界の旅	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を文化的背景とかがわらせて理解し、その良さを味わう。			おおシャンゼリゼ
	劇と音楽	ストーリーと音楽のつながりを感じ、音楽の役割について考える。			美女と野獣 Memory
3 学 期	合唱	合唱音楽を体験し、他者との調和を意識して歌うとともに、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付ける。			次の空へ

授業科目	美 術	単位数	1 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年	コース	ICT 科 ・ 普通科		
教科書	美術 I		副教材		
授業概要	制作作品や鑑賞を通して表現する喜びに触れ、日常で使う美術に対する興味・関心を高める。				
授業内容 および 到達目標		単元	目 標	教 材	
	1 学 期	レタリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明朝体、ゴシック体の違いを知ることができる。</li> <li>・「城」「あ」を、お手本通りに書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリント</li> <li>・教科書</li> </ul>	
		ポスターコンクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターの題材から制作意図、伝える相手を考えることができる。</li> <li>・絵と文字を組み合わせる時間内に完成させることができる。</li> <li>・鑑賞活動に積極的に参加することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・画用紙</li> <li>・アクリル絵の具</li> <li>・色鉛筆</li> <li>・タブレット</li> </ul>	
2 学 期 ・ 3 学 期	木彫時計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計の実用性も大切に、彫りを意識してデザインすることができる。</li> <li>・彫刻刀を使い制作ができる。</li> <li>・作品に合う色を付けることができる。</li> <li>・鑑賞を通して、他者の表現を受け入れるとともに、自己の視野を広げることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆</li> <li>・学習プリント</li> <li>・木彫時計</li> <li>・彫刻刀</li> <li>・アクリル絵の具</li> </ul>		

# 教 科 芸 術 科 目 書 道 I

## 令和5年度 シラバス

授業科目	芸選 書道	単位数	1単位	履修形態	必修 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
履修学年	高3年	科	ICT科・普通科		
教科書	書道1 東京書籍	副教材			
授業概要	書道の諸活動を通して書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力と態度を育てるとともに書を愛好する心情を養う。				
授業内容 および 到達目標	単元	目標			教材
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字 〔隸書・篆書〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隸書の基本点画（波磔）を学ぶ</li> <li>・ 草書用の筆運筆法と字形の取り方を理解する</li> <li>・ 隸書・草書・臨書を通じて表現の多様さを体得する</li> </ul>			教科書 60～63P ・ 竹簡 ・ 木簡 ・ 曹全碑 ・ 乙瑛碑 教科書 58～59P・真草千字文
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 二年次の復習</li> <li>・ 古筆の理解</li> <li>・ 構成美の理解</li> </ul>			教科書 70～97P ・ 蓬萊切 ・ 高野切第三種
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字仮名交じりの書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書風と墨色の変化を理解する</li> <li>・ 古典・古筆の倣書をする</li> <li>・ 漢字と仮名の調和を図る</li> </ul>			教科書 98～114P
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用書 細字 般若心経</li> <li>・ まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楷書・行書・草書の三体を知る</li> <li>・ 縦書き横書きのまとめ方</li> <li>・ 書の変遷を理解する</li> </ul>			資料による （書道史年表）

# 教科 英語

# 科目 コミュニケーション英語Ⅱ

授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	2単位	履修形態	必修・選択
履修学年	高校3年 ICT科	コース	デジタルアレンジ		
教科書	info.box (エミル出版)	副教材	Myon		
授業概要	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。 実用英語技能検定2級・準2級や、全商英検1級・2級の取得を目指す。				
授業内容	単元	目 標	教 材		
および 到達目標	1 学 期	Topic1～Topic4  佐々木朗希選手について読み、高校生のころの大会で、監督が何について心配していたのかを理解する。  ロシアがウクライナに侵攻したのは理由からかを理解する。  SDGsは何をもとにして作られたかを理解する。  アメリカで選挙権が18歳に変更されたのはどのような理由からかを理解する。	info.box      Myon		
	2 学 期	Topic5～Topic7  英国で2023年からどのようなことが行われる予定かを理解する。  辻信太郎がシュルツを訪問したのはどうしてか理由を理解する。  大分空港が宇宙空港に選ばれた理由について理解する。			
	3 学 期	まとめ、実践演習  高校英語のまとめと、実践的な演習に活かすことができる。			

# 教 科 英 語                      科 目 英 語 表 現 I

授業科目	英語表現 I	単位数	2 単位	履修形態	必修 ・ 選択
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	デジタルアレンジ		
教科書	Focus on Listening Elementary (エミル出版)	副教材	コア表現トレーニング (旺文社)		
授業概要	<p>高校英語に必要な文法や表現を理解し、聞いたり読んだりする能力を養う。また、それらを使い、英語で表現する能力を養う。</p> <p>実用英語技能検定 2 級・準 2 級や、全商英語検定 1 級・2 級の取得を目指す。</p>				
授業内容	単 元	目 標			教 材
および 到達目標	1 学 期	Training1  ~Training9	写真内容・説明文・グラフを読み取り、理解することができる。		Focus on  Listening  コア表現トレーニング
	2 学 期	Lesson1~Lesson20	説明・アナウンス・会話を聞いて、内容を理解し使うことができる。  さまざまな場面での英語表現を聞き内容を理解することができる。		
	3 学 期	実践演習	高校で学習した英語の知識を活かして、実践的に英語を活用することができる。  実生活の中から様々な英語に触れる。		

# 教 科 商 業 科 目 課 題 研 究

授業科目	課題研究	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択
履修学年	3 年	科	I C T 科		
教科書	全商ビジネスコミュニケーション検定テキスト(実教出版) 日商簿記 2 級テキスト(立志舎) 全商ビジネス文書検定テキスト 電子会計 2 級テキスト(実教出版)	副教材	日本語ワープロ模擬問題集 (日本情報処理検定協会) 日商簿記 2 級模擬問題集 (実教出版)		
授業概要	ビジネス研究・簿記研究・ビジネス文書研究・電子商取引研究・小論文研究				
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材	
	1 学 期	簿記研究	仕訳処理・試算表作成・決算整理・連結会計・管理会計 日商簿記検定にチャレンジする		過去問題集 副教材
		ビジネス文書研究	表の挿入・図の挿入・センタリングの方法・機械・機械操作について・文書の種類・作成・プレゼンテーションについて 全商ビジネス文書検定にチャレンジする		過去問題 模擬問題集
		小論文研究	社会問題研究・志望動機制作 小論文の模擬にチャレンジする		模擬問題集
		ビジネスマナー研究	働くということ・ビジネスマナー・コミュニケーションスキルについて 全商ビジネスコミュニケーション検定にチャレンジする		模擬問題集 外部講師による講義
	2 学 期	小論文研究	社会問題研究(環境問題・高齢化社会・女性問題・経済問題) 大学研究(志望動機)		
		簿記研究	仕訳処理・試算表作成・決算整理・連結会計・管理会計 日商簿記検定にチャレンジする		過去問題集 副教材
		電子会計研究	仕訳処理・試算表作成・合計残高試算表 財務分析・企業分析		教科書
	3 学 期	電子会計研究	電子会計実務検定にチャレンジする		模擬問題集
		発表	年間を通して学んだ研究内容について発表することができたか		

# 教 科 商 業 科 目 光 と 映 像

授業科目	光と映像	単位数	4 単位	履修形態	必修・選択	
履修学年	高校 3 年 ICT 科	コース	デジタルアレンジコース			
教科書			副教材			
授業概要	動画編集ソフト(Adobe Premiere pro、Adobe After effect、CINEMA 4 D)の技術を身に着け視聴者を意識した動画作成を行う。また、立体物に光を当てるプロジェクションマッピングの作成。					
授業内容 および 到達目標	単 元	目 標		教 材		
1 学 期	校内サイネージの運用	校内サイネージのプログラムを理解し、日常的に運用できるようにする。また、新たな活用方法を模索し、意見を出し合う。				
	プロジェクションマッピングの基礎	プロジェクションマッピングの歴史や、活用事例などを学ぶ				
	プロジェクションマッピング作成	Adobe Premiere pro, Adobe After effect の基本操作の習得。 キューブへのマッピングを作成する。お手本通りの作品を作り、自分なりのアレンジを加え、完成させる。 作成した動画を立体物に光を当てる技術を習得する。		外部講師依頼		
	2 学 期	撮影の基礎	カメラアングルの違いによって与える印象の違いについて学ぶ。			
		記憶に残るCMとは	好きなCMや記憶に残るCMを探しどんなパターンで構成を作れば、視聴者に興味を持たせるCMになるのか考える。			
		まなびや商品PR動画	まなびやで販売している商品から題材とする商品を選び、PR動画を作成する。また企画商品を販売している企業に出向き、企画内容の説明を行う。			
	3 学 期	3年間の卒業記念動画の作成	学校生活の日常がわかるような動画を作る。また、生徒自身が思い出を振り返ることが出来る楽しめるコンテンツを作る。 2月の登校日や、卒業式などで公開する予定			

# 教 科 商 業

# 科 目 まなびや研究

授業科目	まなびや研究	単位数	2単位	履修形態	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択
履修学年	高校3年 ICT科プロフェッショナルコース				
教科書	なし	副教材	まなびやマニュアル		
授業概要	<p>『高校生が創り運営するオンラインショッピングモールまなびや』の運営を行う授業である。担当企業様に連絡を取り、商品や広告の情報を提供していただきページを作成する。また、担当企業様とコラボレーションをして新商品の開発にも力を入れる。</p> <p>また参加企業を増やすため、飛び込み営業を行い説明会の開催をする。12月には1年間の活動を報告する報告会を行う授業である。</p>				
授業内容 および 到達目標		単 元	目 標	教 材	
	1 学 期	新年度の挨拶	新規企業担当者を決定させ、新年度のご挨拶をメール、または電話で行う。	まなびや企業訪問マニュアル	
		まなびやホームページの充実	ホームページの改良を目指す。より、見やすく、使いやすいページ作りをして買い物をしやすくする。	まなびや詳細ページマニュアル	
	2 学 期	新規企業開拓	まなびやに加入していない企業を対象に説明会を開催する。実践的な営業活動を通じてビジネスマナーの向上を目指す。	まなびや買い物の仕方マニュアル	
		新商品登録 営業活動	月に1回担当企業様に訪問し新商品の情報やニュースがないか打合せを行う。実践からビジネスマナーを身につける。	まなびや詳細ページマニュアル、まなびやマニュアル店舗編	
		しんきんフェア	しずおか焼津信用金庫が主催するしんきんフェアに参加する。企業と商談をし、実社会で通用する力を身につける。		
		報告会	1年間の活動を参加企業に対して報告しプレゼンテーション能力や実践的な活動を通じ、おもてなしの心を学ぶ。		
		静岡を観る まなぐる	観光名所やグルメ情報ページの更新。新規企業を開拓し営業活動を行う。	まなびや詳細ページマニュアル	
	3 学 期	引継ぎ	業務内容を後輩へ引き継ぎ。 担当企業様への挨拶。	まなびやの歴史マニュアル	